

金剛駅周辺まちなかウォーカブルビジョン(素案)に対する パブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの実施状況

- (1) コメントの募集期間
令和7年2月10日から令和7年3月12日
- (2) コメントの状況
有効提出数：6通
(方法別…Eメール：2通、窓口持参：1通、応募フォーム：3通)
コメント数：15種類/15件
- (3) コメントにより修正した箇所
1箇所

2. パブリックコメントの結果

区分	件数
1章 はじめに	4件
2章 めざす方向性	3件
3章 潜在力と課題	1件
4章 実現に向けた取組	1件
その他全般	6件

1章 はじめに

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
1	富田林市民にとって、金剛駅を通勤に使う者にとってこの素案は非常に素敵なものだと思います。積極的に進めて欲しいです。このプロジェクトはそもそも富田林市に若い世代を呼ぶための打ち手で、金剛駅付近は素敵ですし、移住を誘引させたいことも含まれていると思います。すでに住んでいる人も他県へ移住しないようにする施策も含まれていると思います。このビジョンに賛同します。	本ビジョンにご賛同いただきありがとうございます。今後におきましては、本ビジョンに基づく取組を進めてまいります。	10	1
2	金剛地域がにぎやかになることは大賛成です。地域住民として主体的に参加していければと思います。歩きたくなる道、人の息づかいが感じられる町になってほしい。町並みもそうですが、行きたくなる店がもっと増えればいいと思います。空き家やURの空き室を利用して店が増えると金剛いいねと思う人も増えるのではないのでしょうか。 また、通りのあちらこちらに、様々な人が座ったり話したりしているとそれだけでほっとします。最近、道がきれいになって歩きやすくなり、そんなことで気持ちにいい変化をもたらすのだなと感じました。清潔感のある町づくりのためには、地域住民が地域を大切にしていけることも重要です。自分たちが町をつくっていくという意識を持てるようなれたら、もっと変わっていくのではないのでしょうか。	本ビジョンにご賛同いただきありがとうございます。今後におきましては、本ビジョンに基づく取組を進めてまいります。	10	1
3	今回の「金剛駅周辺まちなかウォーカブルビジョン(素案)」については、金剛駅周辺の施設整備に関わる問題が中心であり、この場所だけのウォーカブル構想としては大変不十分と考えます。	令和4年3月に策定した「金剛地区施設等再整備基本構想」に基づき、まずは地域活性化の中心軸となるふれあい大通りを中心にウォーカブルな空間形成に向けた検討を進めているところです。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	10	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
4	あそこは今まで通り『道』でいいと思います。その予算を中央グランド整備にまわしてよりいいものを早急に作ってほしい。	令和4年3月に策定した「金剛地区施設等再整備基本構想」に基づき、「魅力的で利便性が高く滞留性のある駅周辺空間を創出」するため、ウォーカブルな空間形成に向けた取組を進めていますので、何卒ご理解ください。 なお、金剛中央公園・多機能複合施設の整備については令和11年の供用開始をめざし検討を進めております。	10	1

2章 めざす方向性

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
5	プレイスメイキングの図の英文と日本語の説明文が合っていません。図の英文と日本語を見て、読む者にとって解釈し難いものとなっています。また、プレイスメイキングで最も重要な「PLACE」の説明が全く書かれていません。 本ビジョンにおいて、空間（SPACE）を居場所（PLACE）に変えて、一定の地域を活性化させていく「プレイスメイキング」の手法を紹介し、本手法を活かし取り組もうとされている事には賛同します。しかし、プレイスメイキングの図を引用した、日本語の説明文には、肝心の「PLACE」の説明が抜けています。本図の左側は、「市若しくは地域（CITY/REGION）には、10カ所の目的地が必要」との図です。真ん中は、「各目的地（DESTINATION）の中に、10カ所の居場所（PLACE）必要」との図です。右側が、「各PLACEには、10のアクティビティが必要」との図です。目的地に、10のアクティビティのある居場所（PLACE）が10個ほどあると、個性ある目的地へと成長し、一定の地域にこのような目的地が10カ所ほどあると、その地域は生き生きとしていくというのが、プレイスメイキングの本質です。今回の金剛駅周辺エリアでは、久野喜台1号公園、金剛中央公園、金剛銀座街商店街が目的地となり、各々に10個程度の居場所（PLACE）を創っていき、目的地へと成長させていきます。PLACEとは、銀座商店街での「わっくカフェ」、木陰のベンチに腰掛けてくつろげる空間、空間に開かれた店舗、ピュア金剛跡地活用等です。プレイスメイキングに取り込む基本的な考え方ですので、市民が理解しやすいように、図と日本語の説明を一致させ、初めて読む市民にも理解しやすいいただきますよう、宜しくお願いします。	ご意見も踏まえ、「+1の展開イメージ」の図・説明文を修正いたしました。	13	1
6	「めざすまちなかのシーン」が空白であることについて 本素案を初めて見られる方が意見するにあたっての基礎となる『10年後のあるべき姿』が無い状態でのパブコメとなっています。ビジョン策定にあたり、後に示される「めざすまちの姿（めざすまちなかのシーン）」が大変重要と思うのですが、これについて、市民の意見を聞く機会は設けられないのでしょうか。	パブリックコメント時にパースの作成が間に合わず申し訳ございません。 また、パースについて個別に皆様からのご意見をお聞きする機会は予定しておりません。	15 ～ 18	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
7	「各エリアの関係性」の図に何が示されているのかイメージできない。「めざすまちなかのシーン」のイメージが固まれば、本図でも各エリアのイメージ並びに関係性が、どのように構成されていくのか、パス等で市民に分かりやすく示していただき、市民が共有できるものとして頂きたい。	ふれあい大通りを介して、各エリアのヒト・モノ・コトが繋がり、一体感を形成すること、ふれあい大通りに各エリアのアクティビティが滲み出し可視化されることで、ふれあい大通りに賑わいや交流が生まれる状況を創り出し、金剛地区の多様性や寛容性を育み、居心地の良いまちとなることを示しております。	19	1

3章 潜在力と課題

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
8	「まちなかの居心地の良さ」の「課題」欄で、「アクティビティが少ないため、目的地として十分に機能していない状況です」は、「居心地の良い居場所（PLACE）が少ないため、目的地として十分に機能していない状況です。」とすべきかと思えます。	ご指摘の箇所については、目的地の中の場所（PLACE）においてアクティビティが不足している課題を記載しています。何卒ご理解下さい。	29	1

4章 実現に向けた取組

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
9	各フェーズの図では、市民が見て、何がどのように変わっていくのかイメージ出来ない。 ビジョンの策定にあたっては、市民と目標像や取組みのステップを共有し、市民が共に取組みたいと思えるよう、理解しやすく工夫することが重要です。道路断面図では、本エリアのどの目的地が説明されていて、何処がどのように変わっているのか理解できません。ウォークアブルのビジョンですので、目的地があって、そこがどのように成長し、如何につながって歩いて楽しくなるのが平面的に分かるようにすべきです。19ページの三つの目的地とふれあい大通りの平面図があって、それがステップごとでどのように変わっていくのか、パスも交えて示すなど、誰もが見て直感的に理解できるように工夫して頂きたいです。	基本方針で設定した3つの方針について、各方針に基づく取組が進む様子をフェーズ毎に示しております。	32 ～ 34	1

その他全般

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
10	金剛駅付近は北野田駅や河内長野駅などと同様に駅直結のビルやマンションなどを造るべきです。若い人にとっては効率化が一番です。通勤も買い物も学校も移動距離など効率的なことが一番です。大阪狭山市とも協働して土地開発をすべきです。	ご意見については今後の参考とさせていただきます。	-	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
11	<p>高齢者への食料宅配サービスや老健施設への補助など考えることは山積みです。教育に関してもレベルを上げるべきです。大阪府内の公立中学と競争をすべきです。この周辺に住むことの魅力をもっと優先的に考えて開発してほしいです。</p> <p>住みやすく魅力あると思いますが、本市の進め方や考え方、手法も古すぎてこれでは他市、他県と競争に負けると思います。一般の人の意見を有識者として取り入れて、消滅都市富田林市の汚名を払拭して新しい富田林市を生み出して欲しいです。</p>	<p>ご意見については今後の参考とさせていただきます。</p>	-	1
12	<p>毎年やっておられるライトアップも無駄です。わざわざ止まって見ておられる人を見たことがないです。</p>	<p>ご意見については今後の参考とさせていただきます。</p>	-	1
13	<p>私は30年前から寺池台に住んでいます。当時は隣の金剛銀座商店街もまた関西スーパーが入っているショッピングモールも非常に活気がありました。この間、高齢化進み人口減少が進み、また一軒家の空き家が多くなり、店舗がなくなり本当にさみしい限りです。</p> <p>この一番の原因は、若い方々がこの金剛地区に住もうと思わないからだと思います。それは金剛駅から広がる団地だと考えています。(団地に住んでいる方には悪気はないのですが)高度成長時期は脚光を浴びたものですが、いま、エレベーターがない5階建ての団地に若者は住もうとはしないのではないのでしょうか。子供ができベビーカーで上階に上がるのは大変、また買い物して階段で上がるのはつらい、また高齢者が足が悪いのに上階に上がるのはきついのではないかと思います。一時的に資金が貯まるまで住んでそして別の所に引越していく方が多いのではないのでしょうか。</p> <p>永住する若い人たちを増やさないといろんなイベントを開催しても一時的に人は集まるかもしれませんが、長続きしないのではないかと思います。</p> <p>金剛駅に近い団地から高層のマンションに建て替えて往けたら永住する人たちが増えていくと考えます。これには時間と難しい問題が多くあると思いますが。金剛は南海の急行で20分で難波に行けます。利便性は非常に高い。それなのに金剛駅を利用する人が減っている。金剛駅から直結の高層マンションができれば素晴らしいと思います。その例が北野田駅の周辺、しらさぎ駅、堺東駅です。いろんなイベントも非常に大事です。もう一度活気あふれる街にするために永住する若い人たちを増やす為に住宅問題を第一に考えなくてはならないと考えます。</p>	<p>ご意見については今後の参考とさせていただきます。</p>	-	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
14	<p>金剛駅前を整備に関しての意見を述べる。金剛駅周辺地区で現在絶対的に不足しており、しかも必要とされる施設に、子育て世代・青少年世代が利用する文化的施設がある。近鉄富田林駅周辺、市役所周辺地区と比べるとそれは明らかである。</p> <p>富田林駅周辺では、「トピック」があり『若者の育成拠点』と位置づけられ、実際に生徒学生の自習や学習活動の拠点となつて大いに利用されている。また元児童館も「とんぱる」として形を変えて市民の学習活動や各種相談また児童館的役割を持った施設として整備されている。一方、金剛駅は富田林の西の玄関口にあたる人口集中地区にもかかわらず、図書館、学習会館・などがほとんどない。</p> <p>金剛連絡所に健康福祉の相談所が設けられたとはいえ、実際にはこれまで市民の学習会活動など市民活動で大いに利用されていた小ホールをなくして設置されたもので、そこから放り出され活動困難となった活動も多く存在する。</p> <p>今度、金剛中央公園の体育館は多機能複合施設となる。様々な機能を持つ施設が検討されているが、スポーツ施設。文化的施設。相談室。児童館施設。遊戯施設。貸館機能。多目的室。便益機能(テイクアウト・イトイン)など、多くの機能を持たせようとしているが、現実的には中途半端なものの集合体になる恐れが多いにある。そして生徒学生にとっては貴重となる学習施設は無視されている。</p> <p>そこで、子ども図書館、生徒学生対象の自習学習施設等は今後の若者・子育て世代にとって極めて利用される施設として、中央公園の多目的複合施設とは別に設ける必要がある。</p> <p>ピュア金剛跡地の緑地化、中央公園の整備と公園整備は既に実施が計画されており、緑地環境は更に充実すると考えられる。</p> <p>そこで久野喜台1号公園に子ども図書館や学生生徒の学習活動が出来る施設を設けることが良い。(施設そのものはシンプルで経費を多くかける必要は無いと思う。)</p> <p>中央公園と金剛駅前に必要不可欠な公共施設を設置することで、ふれあい大通りは両施設をつなぐメイン通路となり、それこそウォークアブル空間としての意味を持つことになるだろう。</p> <p>若い世代のメイン通路としての利用される大通りは時として行われるイベントにより更に活気をもつ</p>	<p>ご意見の久野喜台1号公園への公共施設整備については予定しておりませんので何卒ご理解ください。</p> <p>また、本市では「(仮称) こども・子育てプラザ」を含む複合施設の整備を金剛中央公園で予定しており、当該複合施設では自習等での利用や図書コーナーの設置も想定しています。</p>	-	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
15	<p>ウォーカブル構想については、もっと広く金剛地区を再生させる観点から意見を述べる。</p> <p>【ウォーカブル構想の基礎となる高辺台の位置付けと特徴】 高辺台は、金剛地区の北東端にあたるためこれまでの金剛まちづくりの構想から外されていた。</p> <p>しかし高辺台全体は住宅環境としては緑の豊かさ、閑静という点では他の地域に比べ、一段と勝れているといえる</p> <p>高辺台は丘陵地の傾斜地部分を住宅地としているため、アップダウンの多い地域となっている。特に高辺台1丁はその特徴が目立っている</p> <p>アップダウンは生活上不便な面があるが、同時にウォーキング運動などによる健康増進にとっては大変有用な土地柄と言える</p> <p>さらに、高辺台1丁と藤沢台3丁との境界には『風土の丘』という、かつてこの地域が緑深い丘陵地だったときの現況林を今に残す貴重な土地となっている。</p> <p>金剛地区の最高地点は明治時代に『風土の丘』に設置された標高126mの三角点の地点である（『三角点』そのものは、2018年の台風被害により破損し撤去されている）</p> <p>この高辺台1丁の特徴を活かすことが高辺台から見た「金剛まち再生」を考える際の重要な観点になると考える。『風土の丘』からは金剛山系や南河内全体を見渡すことができる</p> <p>そこで高辺台1丁の象徴的存在である『風土の丘』を拠点的ビューポイントに設定した金剛周遊ウォーキングルートに取り入れることで高辺台を魅力的な健康増進健康地区にすることができる</p> <p>【具体的方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風土の丘の出入り口を開放する ・風土の丘にウォーキング路を設定し、ルート整備をおこなう ・周辺住民のプライバシー保護として、目隠しの垣根や植栽を設置する（関係住民の理解が必要） ・ウォーキング路に歩行距離の掲示板を設けて、自分が歩いた距離がわかるようにする（歩行距離の起点として、金剛公民館起点。中央公園起点の複数の起点を設ける） ・金剛東に設けられたウォーキング路とつなげ、歩行距離の掲示板を設置しウォーキング促進を図る ・ウォーキング路の途中に、休憩施設となるベンチなどを設ける <p>【ウォーキング路設置の効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金剛地区の最高標高地点の丘の価値が生きる（丘の寄贈者の強い要望でもある） ・高辺台地区の特徴である、豊かな緑の環境を十二分に生かせる ・緑環境と健康増進に加え、南河内が一望出来るという魅力がプラスされる（プラスワン） ・これまで途切れがちであった、金剛東地区とのつながりが生まれる ・駅前の文化施設と高辺台ウォーキング路の設置の相乗効果により、金剛東地区と金剛駅周辺とのつながりも大きくなる 	<p>ご意見については今後の参考とさせていただきます。</p>	-	1